



日本語

SilverFast 用語辞典



Professional Scanner & Digital Imaging Software

SilverFast

Brilliant Images with SilverFast



LaserSoft Imaging®

この用語集の内容

A/D Converter (Analog/Digital Converter)	3	GCC (Global Color Correction)	7	Pixel Skipping	11
AACO (Auto Adaptive Contrast Optimization)	3	GCR (Gray Component Replacement)	7	PMS (Pantone Matching System)	11
ACR® (Adaptive Color Restoration)	3	Gigabyte	7	PMT (Photo Multiplier Tube)	11
Additive Primary Colors	3	Gradation (Gradation Curve)	7	Posterization	11
Aliasing	3	Gray Balance	7	ppi (pixel per inch)	12
Analog	3	Grayscale	7	Prescan Concept	12
Auto IT8	3	Halo	7	PrinTao®	12
Auto Frame Alignment®	3	HDRi (High Dynamic Range + infrared Channel)	7	Profile	12
Auto Frame Detection	3	Highlight	7	Proof	12
		HiRePP® (High Resolution Picture Performance)	8	Process Color	12
Batch Scanning	3	Histogram	8	Quality Factor	12
Bilevel Images	3	Hot-Folder	8	Quarter Tones	12
Bit	3	HSL	8	RAM (Random Access Memory)	12
Bit Depth	3	HSV	8	RAW Data	12
Bitmap	3			Reflective Original	12
Black Point	3			Register Marks	12
				Rendering Intent	12
Calibration	4	ICC (International Color Consortium)	8	Resampling	12
Calibration Strip	4	ICC Printer Calibration	8	RGB (Red, Green, Blue)	13
CCD (Charge-Coupled Device)	4	Image Automatics	8	RIP (Raster Image Processor)	13
CIE	4	Image Sizes for Multimedia	8		
Clipping	4	Imagesetter	8	Sampling	13
Clone Tool	4	Interpolation	8	Saturation	13
CMS (Color Management System)	4	IPTC (IPTC-NAA Standard)	9	SC2G® (Selective Color to Gray)	13
CMYK	4	ISO 21550 Norm	9	Scanner	13
Color Angle (Hue)	4	iSRD® (Infrared Smart Removal of Defects)	9	Screen	13
Color Cast	4	IT8 (IT8 Calibration)	9	to screen sth.	13
Color Correction	4			Screen Angle	13
Color Pipette	4	Jaggies	9	Screen Ruling	13
Color Proof	4	JobManager®	9	SSC® (Selective Color Correction)	13
Color Separation	4	JPEG (Joint Photographic Experts Group)	9	Shadows	13
Color Space	4			Secondary Colors	13
Colorimeter	5	Kilobyte	9	Soft Point	13
ColorServer	5	Kodachrome®	9	SoftProof	13
Compression	5			Spectrophotometer	13
Contrast	5	L*a*b*-Farbraum	9	SRD® (Smart Removal of Defects)	14
Core Size	5	Laser Printer	9	Subtractive Primary Colors	14
Crop Marks	5	Lights	9	Supersampling	14
		Line Image	10		
Decompression	5	lossy	10	Targa	14
Density	5	Lowkey Image	10	TIFF (Tagged Image File Format)	14
Densitometer	5	lpi (lines per inch)	10	Tone	14
Descreening	5	LUT (Look-Up Table)	10	Tone Curves	14
Dichroic Mirror	5	LZW (Lempel-Ziv-Welch-Algorithm)	10	Transparent Original	14
Digital	5			Trapping	14
Direct-to-plate	5	Mask	10		
Direct-to-press	5	Matrix	10	UCR (Undercolor Removal)	14
Dithering	5	Megabyte	10	USM (Unsharp Masking)	14
Dot Gain	6	MidPip4	10		
Downsampling	6	Midtones	10	Vector Graphic	14
dpi (dots per inch)	6	Moiré	10	VLT (Virtual Light Table)	14
Drum Scanner	6	Monitor Calibration	10		
Dye Sublimation	6	Monochrome	10	White Point	15
Dynamic Range	6	Multi-Exposure®	10	Workflowpilot	15
		Multi-Sampling	10	Working Space	15
Elliptic Point	6				
EPS (Encapsulated PostScript)	6	NegaFix®	11		
		Negative	11		
Film	6	Noise	11		
Film Negative	6	non-lossy	11		
Flatbed Scanner	6				
Four Color Process	6	OCR (Optical Character Recognition)	11		
		Offset Printing	11		
Gamma	7	Optical Resolution	11		
Gamma Correction	7				
Gamut	7	PhotoProof®	11		
Gamut Warning	7	Pigments	11		
GANES® (Grain and Noise Elimination)	7	Pixel	11		

用語辞典

A

A/D Converter (アナログ/デジタル・コンバーター)

アナログ→デジタルデータへの変換機能。アナログデータは変動し、デジタルデータのみ一定のステップを取得する。

AACO (自動コントラスト最適化)

AACO はコントラストが強すぎて非常に暗いイメージ領域を、ハイライト内のディテールを残しながら補正するツール。一度起動すると自動的に動作しますが、マニュアル操作も可能です。

ACR (退色復元)

ACR は退色を補正する SilverFast 機能。グローバルカラー補正ダイアログ内にスライダーがあり、ACR のコントロールに使用されます。

Additive Primary Colors (加法3原色)

赤色、緑色、青色が追加的カラーミックスの原色です。もしこれらが一箇所に集まる場合は、白色が追加されます。モニターとスキャナーがこのカラーモデルの原理で動作します。

Aliasing (エイリアシング)

ピクセル間のシャープなトーンコントラストにより、角ばった線またはオブジェクトエッジでのジャギーになる事。

Analog (アナログ)

常に可変する信号/データ。

Auto-IT8 (オートIT8)

IT8を参照。

Auto Frame Alignment (オートフレーム整列)

オートフレーム整列はオートフレーム検知機能との組み合わせで、フラットベッドスキャナー上の多くの異なる原稿を自動的に検知、フレーム化&正しい角度で整列します。

Auto Frame Detection (オートフレーム検知)

オートフレーム検知は写真、スライド、ネガストリップ向けツールで、フラットベッドで複数イメージのスキャンをシンプルかつスピードアップできます。複数の反射/透過原稿を同時にスキャンし、自動的に最適化してくれます。

B

Batch Scanning (バッチスキャンニング)

原稿毎に個別設定を定義した、連続する複数原稿の自動スキャンニング。

Bilevel Images (バイレベル/2階調イメージ)

モノクロのピクセルのみを含むイメージ(ラインアートとしても知られる)。

Bit (ビット)

„binary digit“の短縮形 -コンピュータの情報の最小単位。ビットは2つの状態しか取れません。8ビットは1バイト。

Bit Depth (ビット深度)

ビット数はイメージにあるピクセル単位の記述に使われます。それはグレー/カラー階調数を決定します。

Bitmap (ビットマップ)

ビットマップは正方形ピクセルの矩形グリッドから構成されているイメージです。イメージのタイプによって、1 bit (モノクロ) から 24 bit (カラー) が各ピクセルに割り当てられます。

Black Point (ブラックポイント/黒点)

イメージ内の最も暗いエリアを定義する、可変型参照ポイント。他の全エリアはそれに従って調節できます。

C

Calibration (キャリブレーション)

信頼性のある結果を得るため、機器類を調節する事。

Calibration Strip (キャリブレーションストリップ)

印刷品質をコントロールするための、ネガ、プルーフ、プリント上にカラーシェードのあるストリップ。

CCD (電荷結合素子)

イメージング機器における、電荷結合素子あるいは固体撮像素子。

CIE

Commission Internationale de l'Eclairage(国際照明委員会)の略。L*a*b* 色空間等の物理的カラー定義の標準を策定してきました。これらは Adobe PostScript Level 2に代わりました。

Clipping (クリッピング)

イメージのコントラストが大きく増加した時、明るさが表示できなくなります。それは可能な値の範囲を外れるからです。それらはカットされ、最大/最小の値にセットされます。イメージ結果はちょうど均一の白い表面に見えます（以前は明るいディテールが見えていた）。

Clone Tool (クローンツール)

クローンツールはイメージパーツ全てをコピーできるレタッチ用イメージ処理機能です。

CMS (カラーマネージメントシステム)

各関連ユニット向けカラープロファイル作成によって、入出力機器間の色一貫を実現するシステム。それはこの機器と独立した物理的にカラーモデル（通常、L*a*b*）を定義したものとの間の色変換を可能にします。機器の特性やプロファイルは通常、標準IT8カラーパレットを使用して算出されます。

CMYK

シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック -四色製版には減法混色/プロセスカラーがあります。ブラックは通常、コントラストを高め、純粋な黒を表示します。色の特性はうまく定義されます。ヨーロッパでは „Euro Scale“ が、北米では „SWOP Standard“ が使用されます。

Color Angle (Hue)

いくつかの色空間 (HSL, HSV 等)の3つの量の1つは純色の角度を表示します。それは他の2つ、saturation（彩度）と brightness（輝度）の量によって可変します。

Color Cast (カラーキャスト/色かぶり)

一般的に、カラーフィルターを通したかのような、イメージにおける不安定な色。

Color Correction (カラー補正)

カラーキャスト、スキャナーエラー、出力機器の特殊性等を補正する為のイメージ内のカラー値変更。

Color Pipette (カラーピペット)

カラーピペットはイメージ内の任意の地点でのクリックだけで、画素の色を選択する事が可能です。

Color Proof カラープルーフ (色校正)

最終プリント用印字見本。異なるカラープルーフ素材の解像度と品質は大きく可変します。

Color Separation (カラーセパレーション/色分解)

カラーセパレーションは通常プリプレスにおける、個々の（分解された）印刷色の算出を意味します。デジタル化以前のカラーセパレーションは写真用カラーフィルターで行われていました。カラー情報は印刷に必要とされる書式にいつも存在しないため、カラーセパレーションは必要です。

Color Space (カラースペース/色空間)

カラーモデル化された全ての色。彩色方式、量子化形式、3次元色空間によって実際に出力する事ができます。それぞれのカラーリング方式は、それ固有の色空間を持ちます。例、RGB, L*a*b*, CMYK, XYZ。

Colorimeter (測色計)

色を測定する感光型機器。そのため、赤色、緑色、青色の要素は、人の眼の内部のようにフィルターがかかります。Spectrophotometer (分光計) を参照。

ColorServer (カラーサーバー)

カラーサーバーは色変換、スケール、シャープニング、セパレーションや、イメージデータ最適化等の反復するステップを自動化を通じ簡素化します。そのイメージは「ホットフォルダ」と呼ぶフォルダ内に保存されます。これらホットフォルダには最初に任意の処理パラメータがセットされます。2番目のステップでは最適化が開始され、それから全てのファイルにフル自動化が実行されます。

Compression (圧縮)

イメージファイルサイズの低減。lossy & non lossy (ロスあり&ロスなし) を参照。

Contrast (コントラスト)

コントラストはイメージの明暗の差異です。

Core Size (コアサイズ)

画像処理&シャープ化の方式向けユニットに分類されたピクセル数。

Crop Marks (クロップマーク)

仕上がった印刷ページの寸法を表示する印刷の線。これらはトリミングに使用されます。

D

Decompression (解凍)

圧縮されたイメージファイルの解凍。lossy and non-lossy (ロスあり&ロスなし) を参照。

Density (濃度)

光吸収フィルター、顔料、露出済写真乳剤などの不透明度。

Densitometer (デンストメータ/濃度計)

デンストメータは色濃度または印刷物の光学濃度の測定を行う機器です。そしてとりわけ、写真技術において、ネガ、透過、写真用紙での濃度測定向けです。SilverFast のデンストメータはスキャン画像の最適化前後のトーン値を表示します。

Desccreening (ディスクリーニング)

スキャン時またはスキャン後の画像のデフォーカス (ぼかし) により、印刷物からドットパターンを除去します。これで後続のスクリーンリプロダクション間のモアレパターンや色ずれを防ぎます。Moiré (モアレ) を参照。

Dichroic Mirror (ダイクロイックミラー)

スペクトルの特定波長部を反射し、残りを通過させる特殊干渉フィルター。スキャナーの使用で光線をRGB要素に分割するのに使われます。

Digital (デジタル)

データ/電圧のシグナル。個々の異なったステージで構成される。絶えず変化するアナログデータとは対照的です。

Direct-to-plate (ダイレクトプレート)

中間ステップで他のフィルムなしに画像データを印刷プレート/フィルム上に直接露光する方式。

Direct-to-press (ダイレクトプレス)

プレス工程で画像データを直接印刷シリンダーに転送する事により、中間のフィルムをとばして刷版を作る方式。

Dithering (デザリング)

デザリングは、低いカラー深度を持つイメージでより大きなカラー深度の効果を作り出すCGテクニックです。失った色は利用できる色からモデル化された特定ピクセル配列によって作成されます。従って、色間の激しい転送を防いでいます。人の眼にはデザリングはそれぞれの色の混合としてみえます。

Dot Gain (ドットゲイン)

トーン値増加とも言う。意図した以上にハーフトンドットが大きく印刷される事で起こる効果。より暗い色やグレー階調が起こる。

Downsampling (ダウンサンプリング)

イメージの解像度を現象。これはディテールのロスと関連します。

dpi (インチあたりのドット)

出力機器の解像度のサイズ。誤ってスキャナー解像度が ppi の代用で dpi を指定される事があります。入力と出力解像度の大きな違いはカラー深度です。プリンターの例では、ドットあたり最大8色までのみ表現可能です。スキャナーは反対に差がありますが、数百万色まで可能です。 lpi を参照。

Drum Scanner (ドラムスキャナー)

回転ドラム上に置いたテンプレート内のイメージをキャプチャーする高解像度デバイス。最初にドラムスキャナーはスキャンを CMYK データへ展開し、次に回転ドラム上にあるフィルムに直接記録しました。

Dye Sublimation (昇華法)

熱要素を使ってキャリアフィルム上で着色顔料を蒸発させる印刷方法。

Dynamic Range (ダイナミックレンジ)

ダイナミックレンジ (別名コントラストレンジ) はスキャナーが白黒間のグレー階調を取得する能力を表す値です。ISO 21550 標準に基づいています。ダイナミックレンジは識別可能なグレースケールの10の数を基にした対数として表記されます。対数表記はすぐにダイナミックレンジが同等のサイズを持つ2つのスキャナーへの効果を導く事ができ、同等のコントラストを識別する事も可能です。実際のコントラストレシオを考慮すると絶対的違いは明白です。

ダイナミックレンジ(DR)~コントラスト比の関係を示した例:

It is $DR = \log_{10} (g)$ (gグレースケール)

At $DR = 3.15$ a number of $10^{3.15} = 1415$ グレー階調が識別化可能

at $DR = 3.95$ a number of $10^{3.95} = 8920$ グレー階調が識別化可能

Multi-Exposure を参照(ダイナミックレンジ向上 SilverFast テクノロジー)。

E

Elliptic Point (楕円ポイント)

円形より楕円形状のスクリーンドットのタイプ。いくつかのケースでこれを使うとグラデーション色調が良い結果になる。

EPS (埋め込み型ポストスクリプト)

異なったプログラム間でのポストスクリプト・イメージファイル交換用ファイル形式。

F

Film (フィルム)

写真感光コーティングされた透過素材。

Film Negative (ネガフィルム)

反転イメージ内において、暗い領域が明るく、明るい領域が暗くなるフィルムの一片。カラーネガはオレンジマスクを持ち、その3つのカラーチャンネルは非常に圧縮されます。

Flatbed Scanner (フラットベッドスキャナー)

フラットベッドスキャナーはスキャンされる素材がガラスプレートに対し下向きに置かれます (通常、A4サイズ)。スキャンングの際、「ベッド」内部の照明とスキャンングユニットがこのガラス下で移動します。

Four Color Process (四色製版)

シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックを用いて多彩な色を表現する印刷方式。

G

Gamma (ガンマ)

イメージの明るい/暗い色に対する圧縮/拡大が実行された量を測定します。

Gamma Correction (ガンマ補正)

人の眼は明るい領域より暗いイメージ領域での急激な明るさの変化を知覚します。従い、モニター等リニアに輝度信号を動かしている表示機器がリニアに見えるならば、それは予め歪んでいたに違いありません。この方法はガンマ補正と呼ばれます。

Gamut (ガマット)

ガマットとはカラー入出力機器類 (モニター、プリンター、スキャナーなど) が表示ないし記録できる事。正式には、ガマットは色空間内フィールドにおいて、この機器が内部のカラー混合を利用して記述できる事です。

Gamut Warning (ガマットウォーニング)

ガマットウォーニングは多くのカラーマネージメント対応アプリケーションの機能です。選んだターゲット色空間へ色域的に転送できないカラードキュメントを表示します。ガマットウォーニングは相対的/絶対的な色域の色空間変換にのみ有効です。Rendering Intent を参照。

GAN (粒状低減)

このツールはイメージノイズの低減とフィルム粒子のスムージングに有効です。

GCC (グローバルカラー補正)

グローバルカラー補正は画像全体のカラーバランスをコントロールするための直感的ツールです。スキャニング前にカラーキャストを除去できます。色ズレ (特に明るい/暗いイメージ領域で) を補正するためには、変更は2分の1や4分の1トーンに限定すると良いでしょう。

GCR (グレイ置換)

それはニュートラルレンジでシアン、マゼンタ、イエローの量を減少させ、それらの色を対応する黒の成分で置き換えるための方法です。

Gigabyte (ギガバイト)

1バイトは 8ビットであり、ビットはコンピューターの最小データ単位です。1ギガバイトは 230バイトで、10億バイト以上です。データ量の計測に使われます。GB は一般的略称です。

Gradation (グラデーション・カーブ)

言語環境によって、用語「グラデーション」はまったく異なった使い方になります。画像処理&印刷業界では、入力値から出力値への転送と説明します。これはコントラストの多少著しい変化を伴います。ソフトウェアがスキャナーから受け取るような入力値はグラデーションダイアグラム横軸 (X軸) で示されます。通常、256トーン (8ビット) で表記、左、0、黒でスタートし、右、256、白で終わります。座標 (Y軸) は出力値 (0~256) へ同じ等級付けになります。グラデーションカーブの性質は変換レシオを説明します。カーブが始点から45度直線の時、入力から出力には変化はありません。もしグラデーションカーブが直線的でない場合 (例、カーブ)、コントラストが変化します。

Gray Balance (グレイバランス)

CMYK 色間のバランス。カラーキャストなしのニュートラルなグレイ作成に必要です。

Grayscale (グレースケール)

ハーフトーンイメージの不連続な色調レベル。ハーフトーンイメージの多くは1色あたり256グレイレベルを持ちます。

H

Halo (ハロ)

USM (アンシャープマスキング) 使用時などに現れる、イメージオブジェクトのエッジに沿った明るい線。

HDRi (高ダイナミックレンジ + 赤外線チャンネル)

通常のRAW スキャンデータに加え、64bit HDRi 形式では赤外線チャンネルデータを保存する事が可能です。従い、HDRi ファイルはスキャナーが吐き出す全ての情報が含まれます。HDRi は理想的なアーカイブ形式といえます。HDRi RAW データは SilverFast HDR を利用し、いつでも編集が可能になります。

Highkey Image (ハイキーイメージ)

意図的に、暗いイメージ領域でディテールのシャープさが無い明るいイメージ。

Highlight (ハイライト)

ディテールを殆ど持たない光源からのまぶしい反射。

HiRePP® (高解像度写真パフォーマンス)

スキャン中、追加データを画像ファイルに埋め込む事によって、高速なオープン&後の編集を可能にします数百メガバイトサイズでの画像ファイル使用時にその違いが顕著になります。

Histogram (ヒストグラム)

イメージにおいて発生するトーンの度合いを縦のバーで表示するチャート。バーの高さ(Y軸)はトーンの発生度数に対応する。横座標(X軸)はトーンを示します。特に重要なのは、横軸が完全に埋められている事です。ヒストグラム内のギャップは不規則なもの(または勾配)としてイメージ内に表示されます。

Hot-Folder

Hot-Folder は編集オプション(スケール、シャープ化、色分解)や、イメージフォルダ全体の最適化設定を可能にします。時間を大幅に節約でき、画像処理が後で自動的に行えます。

HSL

hue (色相)、saturation (彩度)、lightness / luminance (輝度)の3座標を基にしたカラーモデル。

HSV

hue (色相)、saturation (彩度)、value/ intensity (輝度)の3座標を基にしたカラーモデル。

I

ICC (インターナショナル・カラー・コンソーシアム)

インターナショナル・カラー・コンソーシアムは、全てのオペレーティング&ソフトウェアパッケージ向けに一貫性のあるカラーマネジメントシステム実現のため、1993年に8つの企業により創設されました。

ICC Printer Calibration (ICC プリンターキャリブレーション)

プリンターキャリブレーションはプリンターを使つての画像の色予測、色一貫かつ色再現の実現に必要です。従い、ICCプリンターキャリブレーションはプリンター、インクカートリッジ&用紙に依存したICCプロファイルを作成します。IT8キャリブレーション済のスキャナーが必要です。

Image Automatics (イメージ自動化)

SilverFast イメージ自動化は自動化されたイメージ最適化を可能にします。シングルマウスクリックでスキャン/写真フレーム内容解析をスタートし、複雑で連続的に対応を行います。光とシャドウはカラーキャストをチェック、必要なら補正します。中間トーンが補正されます。スキャナーと原稿によってはコントラストが補正されます。(ヒストグラムやグラデーションも最適化されます)

Image Sizes for Multimedia (マルチメディア用イメージサイズ)

フォーマット	幅 x 高さ	アスペクト比	ピクセル容量
VHS	240 lines x 576 rows	4:3	138.240
S-VHS	400 lines x 576 rows	4:3	230.400
DVD	720 x 576 pixels	4:3 or 16:9	414.720
HDTV („720p“)	1280 x 720 pixels	16:9	921.600
HDTV („1080p“)	1920 x 1080 pixels	16:9	2.073.600

Imagesetter (イメージセッター)

1つ以上の断続的光線を使ってモノクロフィルム/製版フィルムをデジタルデータ(画像&文字)に記録する機器。データは連続するオーバーラップ地点(ラインイメージ用に均一な領域を、ハーフトーン画像にはハーフトーンドットのいずれかを提供)に記録されます。

Interpolation (補間)

画像処理の関係において、補間とは画像全体を通して新規ピクセルを追加して解像度を増加させる事です。新規ピクセル計算に関し、それらの近くのピクセルが使用されます。

IPTC (IPTC-NAA 標準)

IPTC-NAA 標準は、画像ファイルの特定エリア内に画像コンテンツに関する情報を保存するために使われます。IPTCは画像の権利情報（著作者名、題名、キーワード）を添付させることが出来ます。このメタデータ保存方法はストック写真のエージェンシーや画像アーカイブに広く利用されています。

ISO 21550 Norm

Dynamic Range を参照。

iSRD (赤外線ホコリ除去)

赤外線方式のコントローラブルなホコリ&キズ除去用 SilverFast ツール。用途はスライド&ネガフィルム。iSRD はマーケットで唯一のホコリ除去後術であり、コダクロームスライドのスキャニング時にも使用できます。SRD との連携でモノクロイメージへの適用も可能です。

IT8 (IT8 キャリブレーション)

LaserSoft Imaging は「オートIT8キャリブレーション」の導入でスキャナーキャリブレーションを簡単にしました。バーコード搭載型の高品位 IT8ターゲットにより、各ターゲットが検知され、関連する個々の計測テーブルがフル・オートマティックに識別&処理されます。ICC(Mac)/ICM(Windows)プロファイルが生成されて、OSによって自動的に使用され、スキャナーソフトウェアで即座にアクティブになります。

J

Jaggies (ジャギー)

Aliasing を参照。

JobManager

SilverFast フル版に搭載、画像コントロールとバッチスキャンの個々の最適化の効率をアップさせます。

JPEG (Joint Photographic Experts Group)

データファイル圧縮のための技術を規定する組織。また、JPEG は1992 年に提案された標準ISO 10918-1の一般名称です。様々な画像圧縮の方法が記述されており、これらの方式で圧縮された画像ファイルは jpeg /jpg です。

K

Kilobyte (キロバイト)

1バイトは8ビットに相当。ビットはコンピュータの最小データ単位です。1キロバイトは 210ビット、1024バイトに相当し、一般的に k または kB と略称されます。

Kodachrome (コダクローム)

非常に明るく、経年変化に強い Kodak製カラーズライドフィルム。1935年から2009年まで製造。コダクロームは3レイヤーモノクロフィルムであり、K14 プロセスにおける現像でカラーになります。その特殊構造により、コダクロームフィルムはスキャンが難しいものになります。従い、SilverFast Kodachrome 機能と Kodachrome IT8キャリブレーション・ターゲットは効果的なツールといえます。

L

L*a*b* Color Space (Lab 色空間)

Lab 色空間は全て知覚できる色を含んだ色域です。この色空間は反対色（補色）理論を基に構築されたものです。Lab カラーモデルの最も重要な特性のひとつがハード機器独立型である点です。それは、カラーは生産様式、技術から独立的に定義されるという事です。

Laser Printer (レーザープリンター)

画像印刷用レーザー技術は様々な機器がありますが、通常、DTPのモノクロプリンターを指します。それはドライのトナーとゼログラフィック印刷処理で動作します。

Lights (ライト)

イメージの最も明るいパート。

Line Image (ラインイメージ)

白と黒のピクセル(1 bit)のみを含むイメージ、bilevelイメージとも言う。

lossy (ロッシー)

画像ファイル圧縮方式を記述、画像データは失われます。

Lowkey Image (ローキーイメージ)

明るい画像エリアにおいて、意図して細やかなシャープネスがない、暗いイメージ。

lpi (インチあたりの線)

スクリーン幅の計測 (通常、55~200)。以前のスクリーンはイメージ上に酸化ガラスプレートを置く事で生成し、そしてこれを露光してドットを生成していました。スクリーンの幅は水平と垂直のインチあたりのライン数で指示されました。

LUT (ルックアップテーブル)

個々のコンピュータで表示できるカラーテーブル。コンピュータはこのテーブルを使って利用できる色域から任意の色を大まかに選ぶことができます。

LZW (LZW圧縮)

LZW アルゴリズムはイメージ圧縮方式の記述であり、小さなトーン/カラーバリエーションを省く事です。これは高い圧縮比のために、ディテールのロスが見られました。

M

Mask (マスク)

ビットマップイメージの使われてないパート、何も変化は起きません。

Matrix (マトリックス)

一般的に、マトリックスは表の形式で要素 (数) の配列を意味します。スキャナーに関しては、2次元CCD構成要素の配列を意味することがあります。

Megabyte (メガバイト)

1バイトは8ビット。ビットはコンピュータの最小データ単位。1メガバイトは 220 バイトとなり、従って百万バイト以上になります。データ量計測用に略称のMBが使われます。

MidPip4 (ミッドピップ4)

4つのニュートラル点の設定によって、複雑なカラーキャスト (色かぶり) も簡単に除去できます。

Midtones (中間トーン)

画像内の中間のトーンの範囲。

Moiré (モアレ)

粗いパターン等から発生する印刷エラー。カラースクリーンの上塗りで発生する。これは時に好ましくないスクリーン角度のせいである。

Monitor Calibration (モニターキャリブレーション)

色予測可能な印刷を実現するためのカラーマネージメントの一環として、モニターのカラー出力を設定。

Monochrom (モノクローム)

グレー階調なしのモノクロ出力。

Multi-Exposure (マルチエクスポージャー)

LaserSoft Imaging 社特許のフィルム&スライドスキャン用ダイナミックレンジ向上ツール。異なる露出で2度スキャンする事で自然なイメージノイズを抑えつつ、シャドウ内の多くのディテールの獲得が可能です。一般的に、SilverFast Multi-Exposure は、スキャナーのダイナミックレンジが2倍以上になります。

Multi-Sampling (マルチサンプリング)

このツールは暗いイメージ領域でしばしば発生する、自然なイメージノイズを低減させるためのツールです。従い、複数回~最大16回までスキャンが実行されます。その後、アルゴリズムがノイズ除去済のイメージを 計算します。

N

NegaFix (ネガフィックス)

LaserSoft Imaging が開発した、スキャン処理中にネガフィルムからポジへの変換をコントロールする手法。

Negative (ネガ)

Film Negative を参照。

Noise (ノイズ)

スキャンングと関連。ノイズはランダムに分布し、不正にピクセル値を読みます。通常は、電子的障害/機器の不安定さによるものです。

non-lossy (可逆圧縮)

画像ファイル圧縮方式の記述。画像データ/クオリティはまったく失われません。

O

OCR (光学文字認識)

スキャン済画像から文字を検知し、編集可能な文字へ変換する分析方法。

Offset Printing (オフセット印刷)

オフセット印刷は一般的に使われる印刷方法。インクで書かれたイメージがプレートからブランケットへ移され、その後印刷面に渡ります。

Optical Resolution (光学解像度)

物理的解像度とも言う。スキャンングとの関連で、用語「光学解像度」は実際の値の数を意味します。それは正確に指定された範囲で原稿から別々に獲得されます。ソフトウェア補間による解像度増加はより多くのディテール獲得にはなりません。

P

PhotoProof (フォトプルーフ)

SilverFast PhotoProof は色一貫を必須とする、デジタルイメージの出力に使うことができます。画像最適化はメディアニュートラルな RGB ベースで行います。ユーザーはキャリブレート済モニターで ソフトプルーフによる CMYK 参照色空間のシミュレーションを受け取ります。コントラストプルーフと FOGRA メディアウェッジ、ICC-プロファイル済プリンターを組み合わせで作成することができます。

Pigments (顔料)

塗料や樹脂等のような材料で不溶解性に作られた物質で、光スペクトラムを吸収し、他の部分を反射する。その色で印刷インクにもなります。

Pixel (ピクセル)

画素ともいう。デジタル画像は直接隣接しているピクセルで構成され、それぞれ特定の色/トーンを持ちます。人間の眼で見ると、異なった色付けされたピクセルがぼやけて連続するトーン画像になります。

Pixel Skipping (ピクセルスキップ)

イメージ全体の中の一定ピクセルのみ省く事で単純に画像解像度を減少させる方法。

PMS (パントーンマッチングシステム)

一定の印刷インクの識別用の共通システム。

PMT (光電子増倍管/フォトマル)

ドラムスキャナーで使われた光感知型電子管の用語。

Posterization (ポスタリゼーション)

ポスタリゼーションはトーン値減少によるトーン分離の写真効果を意味します。その効果は芸術的デザインの道具として使われてきました。

ppi (インチあたりのピクセル)

スキャナー解像度をインチあたりのピクセルで計測。光学システムが精密になるほど、スキャニング解像度とディテールシャープネスが向上します。

Prescan Concept (プリスキャン・コンセプト)

SilverFast 8 における各処理ステップの結果は、メインレビュー画面内で即座に表示されます。

PrinTao (プリンタオ)

PrinTao は拡張プリントダイアログであり、全ての SilverFast 版に搭載されます。LaserSoft Imaging はこの名前をもつパワフルなソフトのスタンドアローン版を全プリンター向けに提供しています。

Profile (プロファイル)

色再現性を確実にするためのカラーマネージメントシステムで使用する入出力機器のカラー特性。

Proof (プルーフ)

リーズナブルで正確な印刷校正、最終結果が如何に見えるかを表示する。プルーフはモノクロ/カラーがある。

Process Color (プロセスカラー)

4色 (シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック) を組み合わせて多彩な色を印刷する。これらを混合すると自然色の一部のみを再現できるが、最小限の数の印刷インクで最大限のカラーガマットを表現できます。(CMYKを参照)

Q

Quality Factor (クオリティファクター)

スクリーンファクターともいう。乗数因子 (1と2の間)。SilverFast ではそれを出力スクリーンに適用、最適な品質出力のためのスキャニング解像度を計算します。

Quarter Tones (クォータートーン)

シャドウと中間トーンの間のトーン値はスリークオーター (4分の3) と呼ばれ、ハイライトと中間トーンの間にワンクオータートーンです。

R

RAM (ランダムアクセスメモリ)

コンピューターのメインメモリであり、実際に処理されるデータを保存します。永続的メモリではなく、電源がスイッチオフになれば内容が消えます。

RAW Data (RAWデータ)

Raw データはデジタルカメラやスキャナーのデータの類のものです。データ取得後まだ最適化されていないか、後で変更されます。それらはアーカイブや跡で別な使い方ができるよう調整できます。

Reflective Original (反射原稿)

スキャニング用途のために上部から照らされる光を反射するアイテム。全てを用紙に印刷し、写真用紙の全ての画像が含まれます。スライドは逆に透過原稿です。

Register Marks (レジスターマーク)

フィルム整列用の十字線。

Rendering Intent (レンダリングインテント)

カラーマネージメントシステムのレンダリングインテントはイメージが別の色空間へ変換する方式を決定します。ICCは4つの方式を区別します: perceptual (知覚的)、relative colorimetric (相対的色域)、absolute colorimetric (絶対的色域)、saturation-preserving (彩度)。

Resampling (リサンプリング)

イメージのピクセル数の増減。そのサイズの変更なしに解像度を変更する場合に必要とされます。Downsampling and Interpolation を参照。

Resolution (解像度)

イメージが入出力される精度を計測。dpi/ppi または dpcm/pp で指定されます。

RGB (Red, Green, Blue)

加法三原色でモニター上の色を表示するのに使います。Additive Primary Colors を参照。

RIP (ラスターイメージプロセッサ)

ラスターイメージプロセッサは特殊なハードウェアまたはハード&ソフトウェアの組み合わせであり、高度なページ記述言語 (PostScript、PDF、PCL) をラスターグラフィックに変換します。通常プリンター に出力されます。プリプレスでは、このデータは直接印刷プレート作成用にCTPシステムに送られます。

S

Sampling (サンプリング)

アナログデータをデジタルデータへ変換するプロセス。連続するサンプル/計測が等間隔で取られます。

Saturation (彩度)

カラーの中のグレーの量。グレーの量が多いほど、彩度が下がります。RGB 要素がバランスが取れるほど、彩度は低めになり、カラーはグレーか白に向かいます。

SC2G (カラーグレー変換)

SC2G はカラーイメージを高コントラスト、ディテールのあるグレースケールイメージへの変換を実行します。個々の色はこのツールで任意のグレースケールに転送できます。

Scanner (スキャナー)

イメージのデジタル化、加工、保存、印刷のための機器。

Screen (スクリーン)

モノクロ/カラーでハーフトーン写真をシミュレートするための可変サイズのドットパターン。

to screen sth.

イメージセッターを使いポジ/ネガフィルムを作る為、数的&デジタルデータを連続するドットへ変換するプロセス。

Screen Angle (スクリーン角度)

色分解プロセスで他方とは異なる角度でオフセットします。適切なスクリーン角度でモアレパターンが最小化します。

Screen Ruling (スクリーン線数)

スクリーンにおける、インチまたは cm 毎の線/ドット数。

SSC (部分的カラー補正)

SilverFast の 6/12色での部分的カラー補正。最大4つまでのレイヤーでマスクを使って実行する事ができます。

Shadows (シャドウ)

イメージの最も暗いエリア。

Secondary Colors (等和色)

2つの原色混合による方法。シアン、マゼンタ、イエローが第二原色です。例、赤 + 緑 = 黄。

Soft Point (ソフトポイント)

エッジが完全な円形かつスムーズでないスクリーン内のポイント。ソフトポイントは若干ぼけた画像を作ります。反対にハードポイントは非常にスムーズなエッジになります。

SoftProof (ソフトプルーフ)

ソフトプルーフはモニターに対するデジタル印刷データの正しい出力を測色的に参照します。

Spectrophotometer (分光測光器)

非常に精密な色彩計。回折格子によって、光をその波長成分へ分離します。それから個々の光センサーによって計測されます。

SRD (ホコリ除去ツール)

ホコリ、キズ、その他のゴミを正確にコントロール可能な SilverFast ツール。いかなる画像のディテールも壊すことなく、確実に動作します。

Subtractive Primary Colors (減法三原色)

3つの印刷色 (シアン、マゼンタ、イエロー) は印刷時に様々な色を作り出します。一方、加法混色があり、混合すると色がより暗くなります。

Supersampling (スーパーサンプリング)

1色あたりのより多くのグレイレベルの獲得。写真の編集/出力に要求されます。この追加データでシャドウディテールを強化できます。

T

Targa (TGA)

PC上で24ビットカラー交換用のファイル形式。

TIFF (ティフ)

異なるアプリケーション間でのビットマップ画像 (通常はスキャン) 交換用のファイル形式。.

Tone (色調)

色を表現する色空間におけるポイント。

Tone Curve (トーンカーブ)

ガンマカーブとしても知られる。これらのカーブは常にイメージのグローバル色調レンジや単一カラーチャンネルの個々の色調レンジ調節に使われます。

Transparent Original (透過原稿)

スライド、ネガフィルム等のように光を通すものが透過原稿として知られています。反対に写真、文書、他の不透明な原稿は反射原稿と呼ばれます。

Trapping (トラッピング)

印刷中にレジスター (トンボ) のズレを補正するための製版処理。DTP システムにおいて、これは主に隣接する色の重複調整によって行われている。

U

UCR (下色除去)

ニュートラルな領域でマゼンタ、イエロー、シアンの割合を下げる方式。対応するブラックの量で置き換える。

USM (アンシャープマスキング)

画像&スキャンのシャープ化の手法。SilverFast はイメージの彩度やカラー値に影響することなくシャープ化を行う、革新的輝度ベースの輝度値の算出方式を導入しました。

V

Vector Graphic (ベクターグラフィック)

ベクターグラフィックは、線、円、ポリゴンなどのグラフィカル要素から構成されるコンピューターグラフィックであり、個々のピクセルではありません。ベクターグラフィックは自由なスケール性と小ファイルサイズが特長で、写真のような複雑なイメージには適していません。

VLT (バーチャルライトテーブル)

バーチャルライトテーブルは写真家が使うライトテーブルにヒントを得たツールです。デジタル写真のビューイング、ソート、オーガナイズに最適です。(SilverFast DC & HDR 版向けの機能)

W

White Point (ホワイトポイント/白点)

画像内のもっとも明るい点を指定、そのため他の全エリアはそれに従って調節されます。

WorkflowPilot (ワークフローパイロット)

ワークフローパイロットは SilverFast 8 の心臓部です。任意のスキャンタイプ選択後、ワークフローが自動的にセットされます。ユーザーはそれから必要な処理ステップを通じ、正しい順序でステップ毎にガイドされます。ユーザーはそれから必要な処理ステップを通じ、正しい順序でステップ毎にガイドされます。

Working space (作業空間)

作業空間は画像ファイルが処理される色空間です。一般的に推奨するベストな作業空間は与えられません。最適な色空間はアプリケーションに依存します。通常、プリプレスでは ECI-RGB / ECI-RGB v2 が好まれます。写真家がこれらの色空間を使う事はもあります。